

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	2772500639
法人名	特定非営利活動法人リライフ
事業所名	グループホームむつみ庵
訪問調査日	平成19年12月11日
評価確定日	平成20年1月21日
評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

作成日 2008年1月10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2772500639
法人名	特定非営利活動法人リライフ
事業所名	グループホームむつみ庵
所在地	池田市古江町4番地12 (電話)072-751-4763

評価機関名	NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク福祉調査センター		
所在地	大阪市中央区常盤町二丁目1番8号親和ビル402号		
訪問調査日	平成19年12月11日	評価確定日	平成20年1月21日

## 【情報提供票より】(平成19年11月26日記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成15年3月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11人	常勤3人 非常勤8人 常勤換算7.8人	

## (2)建物概要

建物構造	木造		
	2階建ての	1階	～ 2階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	36,000円	
敷金				
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(200,000円)	有りの場合 償却の有無	有(期間3年以上)	
食材料費	朝食	300円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	100円

## 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	8名	男性	1名	女性	7名	
要介護1		1名	要介護2		0名	
要介護3		5名	要介護4		2名	
要介護5		0名	要支援2		0名	
年齢	平均	73歳	最低	65歳	最高	92歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人多田内科 赤澤歯科
---------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームむつみ庵は、池田市の田園地帯の中にある古い民家を、再利用し開設した。開設のために設立した特定非営利法人リライフの代表理事は、地元にあるお寺の住職が勤め、職員も地元の人が多く、文字通り地域に密着した事業所である。また定員9名の1ユニットのため、家庭的な雰囲気運営され、暖かなふるさとの大家族を連想させる。利用者を訪ねてくる家族も、久しぶりに田舎に帰ったようなほっとした気持ちになるという。
--

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題は、①介護計画の見直しについて②食事・水分の記録について③金銭管理について、の3点であったが、いずれも改善に取り組まれ、指摘事項をクリアしている事が確認できた。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は管理者が記入したが、評価の意義については、運営者・職員等全員が十分に理解しており、自己評価・外部評価をサービスの質の向上に繋げたいとの強い思いが感じられた。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4)
	運営推進会議は、19年3月と7月の2回開催しているが、本来の目的である、会議での意見をサービス向上に活かすところまでには至っていない。今後、メンバーの充実と2ヶ月1回の定期開催に向けて、取り組み強化することを期待したい。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	利用者毎に施設便りを作成して、家族に送付すると共に、家族からの意見は来所時や電話で聞くなどして、運営に活かすよう努力している。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の夏祭りや、年末の餅つき大会に必ず参加している。毎日の散歩と買物等の外出時には、地域の方から声を掛けてくれるなど、地域に溶け込んだ生活となっている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム開設時の理念「それぞれの人が自分の生活や人生を見直すことへのサポート」を忠実に実践している。	○	これまでの実績を基にして、法改正によりグループホームのあり方が、地域密着型サービスに変化している状況を踏まえて、理念の見直しに取り組まれたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を壁など、目につきやすいところに張り出し、管理者・職員が日常の行動面に活かすよう努力している。		
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の夏祭りや年末の餅つき大会には、必ず参加し地域の人びととの、交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価票は、管理者が職員の意見を聞き管理者の了解を得て記入するなど、全員が評価の意義を十分に理解しており、自己評価・外部評価をサービスの質の向上につなぐ努力がされている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、19年は利用者の病气入院等もあって、3月と7月の2回しか開催されていない。	○	運営推進会議は地域に開かれたサービスの質の向上を図るため、活用次第で、多くのメリットが期待できるので、今後メンバーの充実と2ヶ月1回の定期開催に向けて取り組まれたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	池田市の出先機関(文化交流センター)が近いので頻繁に出かけ、池田市立児童館と交流を図り、池田市保健福祉部・福祉室高齢介護課を窓口として、情報収集に努めサービスの質の向上に活かしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	職員が手作りで、利用者毎の家族通信を作成して送付している。		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族会で出された意見や、家族の来所時・電話等でのやりとりなどを、運営に反映するよう努力している。		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員は地域の人が多く、異動は少ないので、利用者や職員等と一緒に大家族の雰囲気である。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	日々の仕事実践教育となっているが、地域密着型サービスとしての教育が不十分。		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	今年12月に、池田市のグループホーム連絡会(仮称・8事業所の管理者と市職員が出席)が出来たので、これを核にして交流を深める予定。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居時に、職員と顔なじみとなり、利用者が安心して入居できるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員等は大家族と考え、利用者を人生の先輩として、学んだり、支援して生活している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	月1回のミーティングで、利用者の状況変化について報告し合うなど、情報を共有して対処している。		
○チームでつくる利用者本位の介護計画					
15	36	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画作成者が、前任の管理者ということもあって、利用者一人一人のその時点の介護計画が作成され、管理者・職員がその実践のため、日々努力している。		
○現状に即した介護計画の見直し					
16	37	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	更新時には見直している。また体調に大きな変化があったときなどに臨時に見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	診療機関への送迎、早期退院の支援を実施している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	連携医療機関の医師と利用者の信頼関係ができており、夜間でも応診してもらえる。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の対応については、職員等が連携医療機関の医師に相談している。これからは、家族等とも機会あるごとに話合っていくという。		
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者・職員は、利用者の誇りやプライバシーを損ねていないかについて、互いにチェック仕合ったり、常に話し合って対処している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	田舎の大家族のような雰囲気、一人ひとりの個性を尊重して支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は誰にとっても、もっとも楽しみなものである。そのため、利用者と職員は一緒になって取り組んでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	原則は週2回(月・木)、夏季週3回(月・水・金)とシャワーとしているが、希望により柔軟に対応している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの希望により、テレビゲーム・家事・庭での土いじりなどの楽しみを支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出来る限り1日1回は外出する。たまには、職員の買物の同行もする。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	広い庭を有する和風家屋を改造して出来た事業所で、玄関には鍵がかかっていないので、庭には自由に出入りでき散歩等を安全に楽しめる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日ごろから連絡網をつくり、地域の人々の協力を得られるよう話合っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士のチェックを受けた食事メニューで、栄養摂取や水分確保について、一人ひとりの支援をしている。		
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	和風家屋の良さを利用して、座敷・居間・広縁や広々とした庭園で、生活感や季節感を取り入れた生活が営まれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の個性を配慮して、対処している。		